

キッズスペース ゆうあい通信

2016年9月
54号

監修：田中隆一（園長）

思い出いっぱいの夏休み ～海やプールで思い切り遊びました～

今年の夏休みは猛暑の日々が続きましたが、子ども達はなんのその！元気いっぱいの毎日でした。
各キッズでは、所外へ出かけたり、普段の生活では出来ないことを体験したり…夏休みならではの活動にたくさん取り組むことが出来ました。

その中でも特に、子ども達は水遊びに大喜びで、それぞれ海や滝へ出かけたり、プールに入って涼を取りました。ザブザブとダイナミックに水とたわむれたり、水鉄砲で遊んだり、砂浜で走ったり景色を見たり、子ども達それぞれが夏の遊びを存分に楽しんでいる様子でした。



だい
 第1キッズ



なつやす さんぼ で とき
 夏休みにお散歩へ出かけた時
 ようす ひろひろ ばしょ
 の様子。広々とした場所でのび
 あそ
 のび遊びました。



いすもかがくかん い ふしぎ
 出雲科学館へ行きました。不思議
 ゆうぐ おおよろこ
 な遊具がたくさんあって、大喜
 こ たち
 びの子ども達でした。



きよだい あそ
 巨大なバスマップすごろくで遊
 び、ゴールを目標して一生懸命
 めざ いっしょうけんめい
 の様子でした。



どうようび ちか てら さんぼ い
 土曜日に、近くのお寺へ散歩に行
 き、みんなで手を合わせて拝みま
 て あ おが
 した。

だい
 第2キッズ



いすもかがくかん で
 出雲科学館へお出かけしました。
 せかい こんちゅうてん けんがく
 みんなで世界の昆虫展を見学
 しました。



こうじょう い
 ゴミのリサイクル工場へ行き、
 はっほう
 発泡スチロールがリサイクルさ
 ようす けんがく
 れる様子を見学しました。



しょくいく や みそしる
 食育で、焼きうどんとお味噌汁
 つく
 を作り、みんなでおいしくいた
 きました。



みすえ ぬ かみ
 水絵にチャレンジ！濡らした紙に
 え く いろ
 絵の具をのせて、にじんだり、色が
 まさ ひと こ たち
 混ざったりする様子を楽しみなが
 か
 ら描きました。

だい
 第3キッズ



わ ちょうせん みこと
 スイカ割りに挑戦！見事に
 わ
 割ることができました。



きょうりょく つく
 みんなで協力して作った
 そうめんをおいしくいただき
 ました。



さんいんちゅうおう しんぼうほんしゃ けんがく
 山陰中央新報本社へ見学
 い しんぶん てき
 に行き、新聞が出来るまでのお
 はなし き
 話を聞きました。



やよい もり いせき み い
 弥生の森の遺跡を見に行きまし
 いしょう き むかし
 た。衣装を着ることができ、昔
 ひと こ たち
 の人になりきっていた子ども達
 です。

〇〇〇〇さんの講演に参加して～弱者がいるからこそある社会～

〇〇〇〇

〇〇〇〇さんは、富山県の特別支援学校で長く障がい者教育に携わり、まったく意図がないと思われた重度の障がいのある子どもさんの意思を顕在化させることに力を尽くされ、奇跡といわれるほどの出来事を次々に起こしてこられた方です。その山元さんが松江に来られるということで、講演会に参加してきましたが、そのお話は、じんわりとした感動を伴うとともに、意識が遠くに連れて行かれる様な不思議な感覚を伴うものでした。

まず印象として、バリバリの先生という感じではなく、ほわっとした、とても優しいお母さんという雰囲気。子どもに対する愛情に満ちているのでしょうか。でも「きっとこの子は、色々な気持ちを持っているはず」という軸だけは決してぶれない。〇〇さんは温かい気持ちだけでなく、一方でとても研究熱心な方でもあります。学んだ大学が教育学部ではなくて理学部ということも影響したのではないかと、本人も言われていましたが、色々なことにトライし、継続していく中で、本人の変化をしっかりと見極めようと日々努力をされてきた方でもあります。そして、〇〇さんの真骨頂は、障がい者をとりまく社会のあり方について、人類の起源、宇宙にまで話が広がる所です。〇〇さんを題材とした「1/4の奇跡」というドキュメンタリー映画があるのですが、この映画ではアフリカに蔓延するマラリアを題材にしています。鎌状赤血球病症という病気を引き受けた患者の1/4の人達がいたからこそ、マラリアに強い遺伝子を持った人たちが存在するのだ、ということがアメリカ国立衛生研究所の研究によって明らかになるのですが、この事実について〇〇さんは、「人間の進化の過程には病気や障がいのある人が必要なのだ」と捉えるのです。また、南米のペルーに足を運ぶと、そこでは古代インカの織物のデザインで、5本指の手の絵が何十とある中に、6本指の絵がその中心に据えられていると。マヤの人たちは障がいのある人を大切にしていたのではないかと推測するのです。

さて最後に話は変わりますが、相模原市の施設で障がいのある人たちが犠牲になる痛ましい事件がありました。この事件によっていちばん心配なのは、「障がい者がいる家族、社会は不幸だ」という風潮が広まることではないでしょうか。ネットではこの犯人に賛同するような書き込みもあると聞きます。そのような思想に対して、障がい当事者、そしてその家族、支援者はどのように対峙すればいいのか。山元さんのやわらかなお話の中には、明確な解答が示されているように思います。障がいのある人もいる世の中こそが、あたりまえなんだよ、と。

〇〇〇〇さんの著書「1/4の奇跡」「僕のうしろに道はできる」の2冊を購入しました。当面、第1キッズに配置しますので、貸し出しを希望の方はご連絡ください。



研修報告

●相談支援従事者初任者研修に参加して (第2キッズ 〇〇 〇〇)

お知らせ

●個別支援計画にご協力をお願いします(第1、第2キッズ)

9月下旬から10月上旬にかけて、第1キッズ、第2キッズでは個別支援計画について、保護者の方とご相談させていただきたいと思っております。児童発達支援管理責任者、担当スタッフが対応させていただきますので、ご協力をお願いいたします。

●秋の作品展 in ごうぎんカラコ美術館

秋の作品展は、昨年度、初めて開催し、今年度で2回目の開催となります。展示会では、子ども達がデイサービスの時間中に制作した様々な作品を展示し、子ども達のご家族や友人、知人をはじめ多くの方に作品を見ていただきたいと思います。各キッズの子どもたちも作品展に向けて、日々制作力を入れています。詳細は以下の通りですので、ぜひお問い合わせの上、ご来場ください。

【日時】10月1日(土)10時~18時 および 2日(日)10時~17時

【場所】ごうぎんカラコ美術館(松江市殿町412)1階ギャラリーにて

ぜひ来て
下さい!



〇〇氏によるカウンセリングの日程

保護者様を対象としたカウンセリングの日程について、以下のとおりお知らせいたします。

いずれも15時~17時の間で1回30分程度、料金は500円です。

お申込みは、各事業所の児童発達支援管理責任者までご連絡ください。

<第1キッズ>10月4日(火)、13日(木)

<第2キッズ>11月8日(火)、17日(木)

<第3キッズ>9月15日(木)、29日(木)

発行:NPO 法人プロジェクトゆうあい/キッズスペースゆうあい

←検索

★キッズゆうあい通信のバックナンバーはHPからご覧になれます <http://pjui.com/day/>

第1キッズ:松江市北堀町 35-14 電話 0852-26-6345 (PHS)070-5523-2220

第2キッズ:松江市北堀町 59-2 電話 0852-24-9979 (PHS)070-5671-3951

第3キッズ:松江市西川津町 1408-7 電話 0852-24-0911 (PHS)070-5055-0852

■連絡可能時間帯:

月~金 11:00~18:00

(第1のみ~19:00)

土(第2除く)8:30~18:00